

平成 30 年度茨城県立中央看護専門学校の学校運営評価 別紙 4

当校は、「社会に貢献できる質の高い助産師・看護師の養成」の実現を目指して、教育の質の向上を図るために平成 17 年度より教職員による学校運営評価を実施し、学校運営の改善に努めています。平成 25 年度から、ホームページにこの結果を公表し今年で 6 年目となります。

平成 30 年度学校運営評価の実施結果

今年度から学校運営評価項目を変更し、実施した。12 分野 63 項目について、5「よい」、4「ややよい」、3「普通」、2「やや不十分」、1「不十分」、0「わからない」の 6 段階評価で行いました。10 分野の中の教育活動は、「目標設定」「教育方法・評価」「教職員」に細分化し、12 分野として評価した。

結果は下記のとおりです。

① 12 分野の全ての評価項目が 3.5 以上の結果となりました。

中でも「教育理念等」「目標設定」「教育方法・評価」「教職員」「学修成果」「学生支援」「学生の受入れ募集」「財務」「法令等の遵守」「社会貢献・地域貢献」の 10 分野については、4.0 以上の結果となりました。全ての評価項目において昨年と同等の結果となりました。

① また本校は、平成 29 年 1 月と 12 月に学校運営指導調査を看護学科 2 年課程と 3 年課程で受け危機管理マニュアルの作成や実習室の給湯設備の修繕、学生寮のエアコンの整備等、さらに図書室は机の配置を替え、閲覧席も増やしました。さらに平成 30 年 12 月、学校運営指導調査を助産学科で受け、避妊モデルの購入、新生児蘇生人形の購入を計画的に行うこととなり、教育上に必要な物品の整備を進めてきています。

今後は新しい視聴覚教材の整備や新刊図書を計画的に購入して、教育環境等を更に整えていきます。

図 学校運営評価（平成 29 年度，平成 30 年度の比較）

